

中小企業景況調査報告書

平成31年1～3月期実績

平成31年4～6月期予測

この調査は、商工会の経営改善普及事業の指導資料にするため、国・道の指定事業として、全国商工会連合会を中心に昭和54年から全国一斉に実施しているものである。
調査要領と、北海道分の調査対象20商工会の回答企業数は、次のとおりである。

1. 調査要領

(1) 調査対象時期等

①調査対象時期：平成31年1～3月期の実績(3月見込)平成31年4～6月期見通し

②調査期間：平成31年2月22日～3月1日 ※調査時点は平成31年3月1日

(2) 調査方法

①商工会の経営指導員等による訪問面接調査

②調査対象企業の抽出は、業種・規模等の有意抽出法による。

(3) 調査対象商工会

①人口～9,999人・・・せたな、ニセコ町、積丹町、北竜町、南富良野町、遠別枝幸町、安平町、鹿追町、更別村

②人口10,000～29,999人・・・七飯町、斜里町、湧別町、新ひだか町、別海町、釧路町

③人口30,000人～(市に含まれる)・・・石狩北、北斗市、いわみざわ、あさひかわ

(4) 回答企業数

業種	調査企業数	回答企業数	回答率	業種	調査企業数	回答企業数	回答率
製造業	51	44	86.3%	小売業	89	71	79.8%
建設業	50	43	86.0%	サービス業	110	93	84.5%
				合計	300	251	83.7%

(5) D I = ディフュージョン・インデックス(景気動向指数)とは？

前年同期と比べて、「増加(上昇・好転)」-「減少(低下・悪化)」の回答企業の比率。

例えば、売上高が前年同期比で「増加」回答企業50%、「不変」回答企業30%、「減少」回答企業20%の場合、D I は $50-20=+$ 30となり、売上高の面では「増加(上昇・好転)」気運であることを表わす。

2. 全業種の業況(前年同期比、前期比の推移) ※D I 値のみ

業種	前年同期比		前 期 比				今 期 比	
	今期	来期見込	H30.1-3	H30.4-6	H30.7-9	H30.10-12	今期	来期見込
製造業	▲ 13.7	▲ 17.1	▲ 27.0	4.5	0.0	▲ 7.0	▲ 20.0	▲ 13.1
建設業	2.4	▲ 9.3	▲ 9.5	▲ 7.9	▲ 2.5	0.0	▲ 11.9	▲ 9.5
小売業	▲ 42.1	▲ 37.2	▲ 48.6	▲ 27.3	▲ 26.9	▲ 34.4	▲ 38.0	▲ 34.3
サービス業	▲ 38.0	▲ 28.6	▲ 25.8	▲ 27.6	▲ 25.5	▲ 33.4	▲ 29.4	▲ 17.1

3. 北海道内商工会地域の状況

製造業

主要景況項目の推移（前年同期比、前期比の推移）

項目	状況	前年同期比		前 期 比				
		今期	来期見込	H30. 4-6	H30. 7-9	H30. 10-12	今期	来期見込
業況	好転した	13.6	12.2	17.8	12.8	11.6	15.0	13.2
	不変	59.1	58.5	68.9	74.4	69.8	50.0	60.5
	悪化した	27.3	29.3	13.3	12.8	18.6	35.0	26.3
	D・I	▲ 13.7	▲ 17.1	4.5	0.0	▲ 7.0	▲ 20.0	▲ 13.1
売上(加工)額	増加した	23.3	20.5	32.7	29.5	31.1	14.0	
	不変	39.5	45.4	53.0	47.8	33.3	20.9	
	減少した	37.2	34.1	14.3	22.7	35.6	65.1	
	D・I	▲ 13.9	▲ 13.6	18.4	6.8	▲ 4.5	▲ 51.1	
資金繰り	好転した	7.0	4.7	10.4	4.5	8.9	7.5	
	不変	79.0	83.7	81.3	86.4	75.5	77.5	
	悪化した	14.0	11.6	8.3	9.1	15.6	15.0	
	D・I	▲ 7.0	▲ 6.9	2.1	▲ 4.6	▲ 6.7	▲ 7.5	
原材料仕入単価	上昇した	48.8	42.5					
	不変	48.8	57.5					
	低下した	2.4	0.0					
	D・I	46.4	42.5					
採算(経常利益)	好転した	11.6	7.0					
	不変	58.2	62.8					
	悪化した	30.2	30.2					
	D・I	▲ 18.6	▲ 23.2					

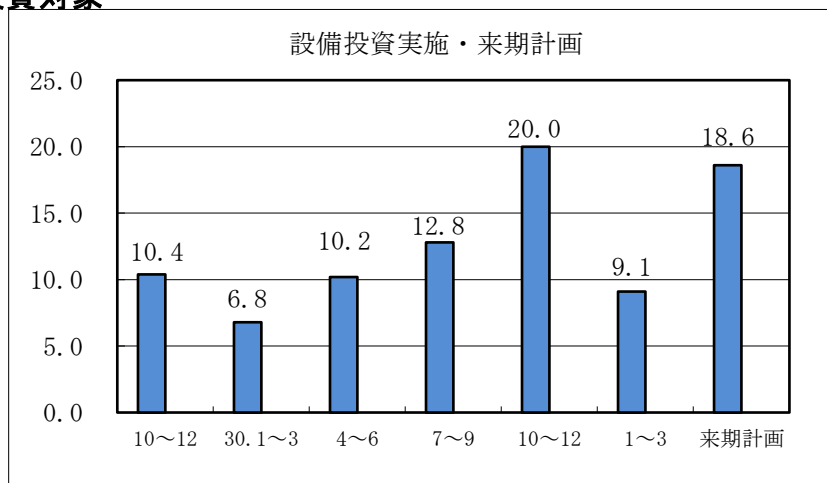
○ 設備投資実施・来期計画と投資対象

【今期実施内容】

回答44事業所の内、4事業所(9.1%)が実施。●OA機器=3事業所、●生産設備、付帯施設=2事業所、●土地、工場建物、福利厚生施設=各1事業所

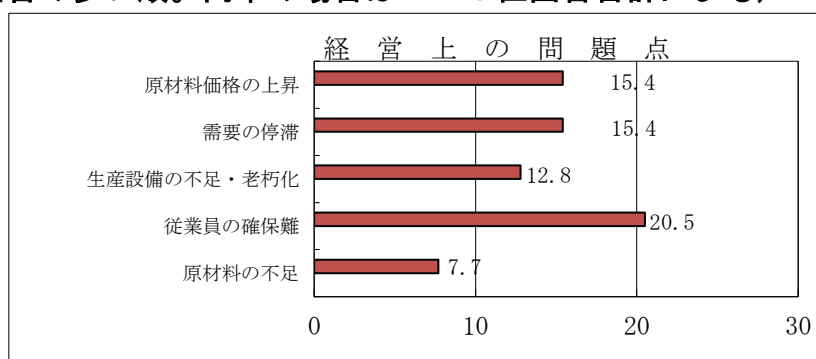
【来期計画内容】

回答44事業所の内、来期に8事業所(18.6%)が計画。●生産設備=5事業所、●工場建物=4事業所、●付帯施設=3事業所、●土地=2事業所、●車両・運搬具=1事業所



○ 今期の経営上の問題点（1位回答の多い順。同率の場合は1～3位回答合計による）

今回1位「従業員の確保難」は前回4位10.5%増加し、今回2位「原材料価格の上昇」は前回1位20.0%より4.6%減少した。今回3位「需要の停滞」は前回2位17.5%より2.1%減少、今回4位「生産設備の不足・老朽化」についても前回15.0%より2.2%減少。「原材料の不足」は今回7.7%で前回と同じ番外となっている。



建設業

主要景況項目の推移（前年同期比、前期比の推移）

項目	状況	前年同期比		前 期 比				
		今期	来期見込	H30. 4-6	H30. 7-9	H30. 10-12	今期	来期見込
業況	好転した	14.0	2.3	7.9	15.0	11.9	4.8	9.5
	不変	74.4	86.1	76.3	67.5	76.2	78.5	71.5
	悪化した	11.6	11.6	15.8	17.5	11.9	16.7	19.0
	D・I	2.4	▲ 9.3	▲ 7.9	▲ 2.5	0.0	▲ 11.9	▲ 9.5
完成工事 (請負工 事) 額	増加した	20.9	4.7	22.7	40.0	24.4	18.6	
	不変	51.2	58.1	56.8	40.0	51.2	37.2	
	減少した	27.9	37.2	20.5	20.0	24.4	44.2	
	D・I	▲ 7.0	▲ 32.5	2.2	20.0	0.0	▲ 25.6	
資金繰り	好転した	7.1	2.4	4.5	5.0	7.5	2.4	
	不変	92.9	85.7	88.7	92.5	87.5	88.1	
	悪化した	0.0	11.9	6.8	2.5	5.0	9.5	
	D・I	7.1	▲ 9.5	▲ 2.3	2.5	2.5	▲ 7.1	
材 料 仕入単価	上昇した	47.6	38.1					
	不変	52.4	59.5					
	低下した	0.0	2.4					
	D・I	47.6	35.7					
採算(経 常利益)	好転した	11.6	2.3					
	不変	81.4	83.7					
	悪化した	7.0	14.0					
	D・I	4.6	▲ 11.7					

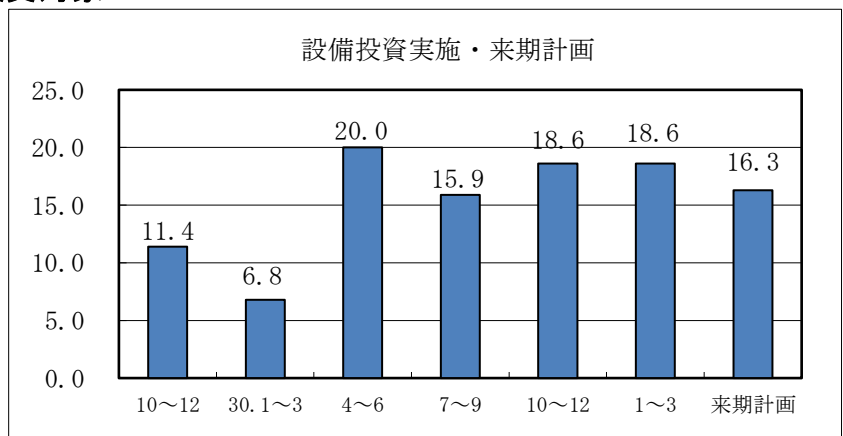
○ 設備投資実施・来期計画と投資対象

【今期実施内容】

回答43事業所の内、8事業所(18.6%)が実施。●車両・運搬具、その他=各3事業所、●建物、建設機械、OA機器=各1事業所

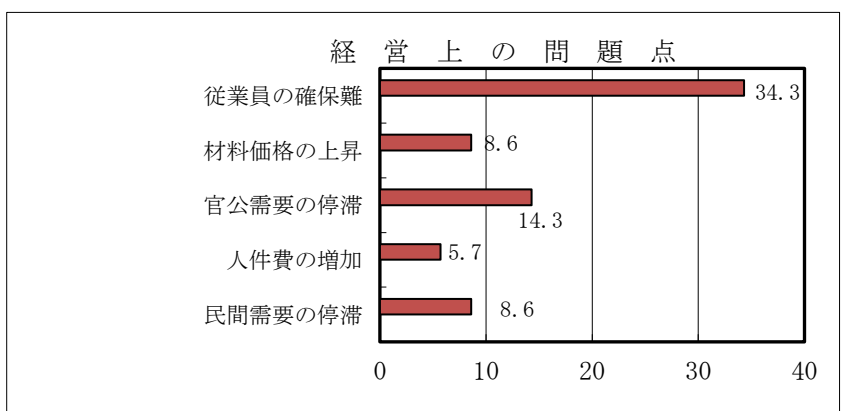
【来期計画内容】

回答43事業所の内、来期は7事業所(16.3%)が計画。●OA機器=4事業所、●土地、建物、建設機械、車両・運搬具、付帯施設=各2事業所、●福利厚生施設、その他=各1事業所



○ 今期の経営上の問題点（1位回答の多い順。同率の場合は1～3位回答合計による）

前回番外「民間需要の停滞」は今回4位となり3%増加。前回4位「人件費の増加」は5.4%減少し今回番外となった。今回1位は前回と同じく「従業員の確保難」で3.7%増加している。今回2位「官公需要の停滞」は前回3位0.4%増加、今回3位「材料価格の上昇」は前回2位5.3%減少となっている。



小 売 業

主要景況項目の推移（前年同期比、前期比の推移）

項 目	状 況	前年同期比		前 期 比				
		今期	来期見込	H30. 4-6	H30. 7-9	H30. 10-12	今期	来期見込
業況	好転した	1.4	1.4	3.9	3.0	4.7	1.7	3.0
	不 変	55.1	60.0	64.9	67.1	56.2	58.6	59.7
	悪化した	43.5	38.6	31.2	29.9	39.1	39.7	37.3
	D・I	▲ 42.1	▲ 37.2	▲ 27.3	▲ 26.9	▲ 34.4	▲ 38.0	▲ 34.3
売上額	増加した	8.5	7.0	16.7	23.7	27.8	15.7	
	不 変	36.6	39.4	40.5	38.1	29.2	38.6	
	減少した	54.9	53.6	42.8	38.2	43.0	45.7	
	D・I	▲ 46.4	▲ 46.6	▲ 26.1	▲ 14.5	▲ 15.2	▲ 30.0	
資金繰り	好転した	2.8	0.0	2.5	2.7	1.4	1.4	
	不 変	73.3	74.3	85.2	74.3	74.7	71.1	
	悪化した	23.9	25.7	12.3	23.0	23.9	27.5	
	D・I	▲ 21.1	▲ 25.7	▲ 9.8	▲ 20.3	▲ 22.5	▲ 26.1	
商 品 仕入単価	上昇した	26.8	25.4					
	不 変	64.7	67.6					
	低下した	8.5	7.0					
	D・I	18.3	18.4					
採算(経 常利益)	好転した	5.6	1.4					
	不 変	59.2	62.0					
	悪化した	35.2	36.6					
	D・I	▲ 29.6	▲ 35.2					

○ 設備投資実施・来期計画と投資対象【今期実施内容】

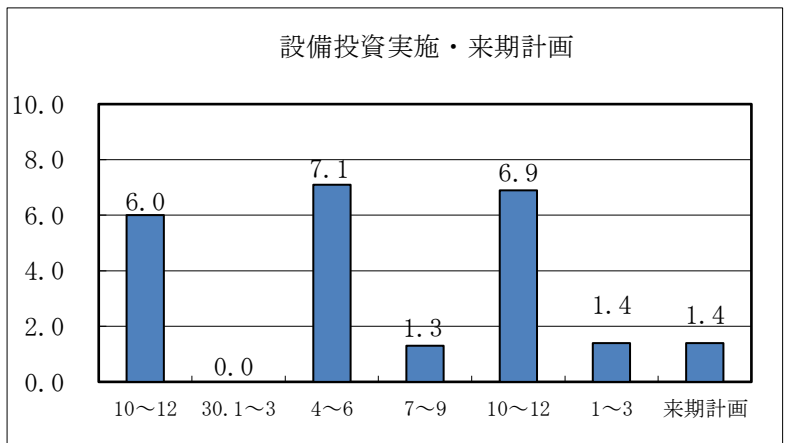
回答71事業所の内、1事業所(1.4%)が計画。

●販売設備、車両・運搬具=各1事業所

【来期計画内容】

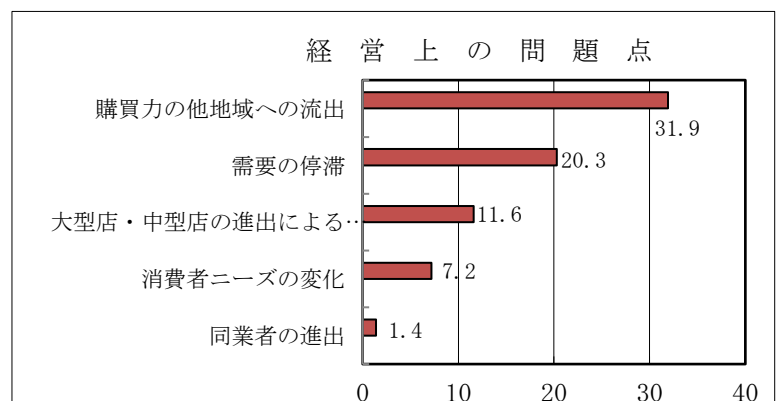
回答71事業所の内、来期は1事業所(1.4%)が計画。

●店舗=1事業所



○ 今期の経営上の問題点（1位回答の多い順。同率の場合は1～3位回答合計による）

今回は順位の変動も無く前回と同じ。今回1位「購買力の他地域への流出」は前回1位27.9%より4.0%増加、今回2位「需要の停滞」は前回2位26.5%より6.2%減少、今回3位「大型店・中型店の進出による競争の激化」は前回3位11.8%とほぼ横ばい、今回4位「消費者ニーズの変化」は前回4位8.8%より1.6%減少。「同業者の進出」は、今回も前回と同じく番外となっている。



サービス業

主要景況項目の推移（前年同期比、前期比の推移）

項目	状況	前年同期比		前 期 比				
		今期	来期見込	H30. 4-6	H30. 7-9	H30. 10-12	今期	来期見込
業況	好転した	3.3	4.4	5.1	3.2	2.2	4.7	10.2
	不変	55.4	62.6	62.2	68.1	62.2	61.2	62.5
	悪化した	41.3	33.0	32.7	28.7	35.6	34.1	27.3
	D・I	▲ 38.0	▲ 28.6	▲ 27.6	▲ 25.5	▲ 33.4	▲ 29.4	▲ 17.1
売上(収入)額	増加した	9.7	10.8	18.1	22.0	12.2	14.1	
	不変	40.9	48.3	47.6	41.0	40.8	40.2	
	減少した	49.4	40.9	34.3	37.0	47.0	45.7	
	D・I	▲ 39.7	▲ 30.1	▲ 16.2	▲ 15.0	▲ 34.8	▲ 31.6	
資金繰り	好転した	0.0	3.3	3.8	3.1	2.1	2.2	
	不変	76.1	73.9	77.9	77.1	72.9	78.0	
	悪化した	23.9	22.8	18.3	19.8	25.0	19.8	
	D・I	▲ 23.9	▲ 19.5	▲ 14.5	▲ 16.7	▲ 22.9	▲ 17.6	
仕入単価(材料等)	上昇した	33.7	31.5					
	不変	60.9	62.0					
	低下した	5.4	6.5					
	D・I	28.3	25.0					
採算(経常利益)	好転した	3.2	4.3					
	不変	59.2	61.3					
	悪化した	37.6	34.4					
	D・I	▲ 34.4	▲ 30.1					

○ 設備投資実施・来期計画と投資対象

【今期実施内容】

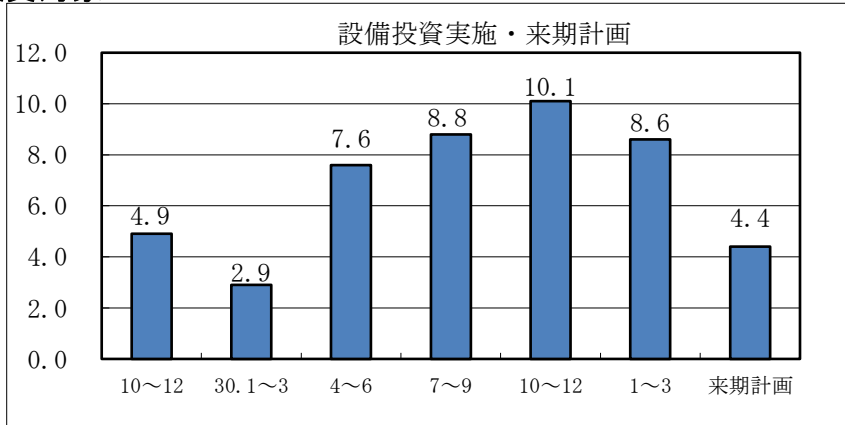
回答93事業所の内、8事業所(8.6%)が実施。

●建物=4事業所、●車両・運搬具=3事業所、●土地=2事業所、●OA機器、その他=各1事業所

【来期計画内容】

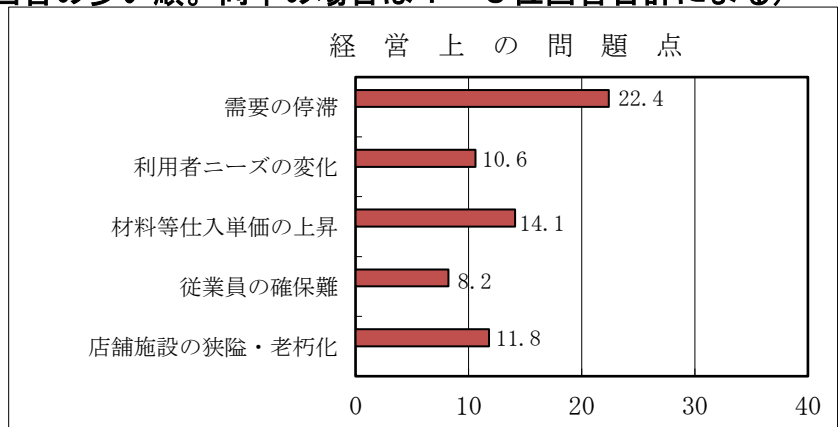
回答93事業所の内、4事業所(4.4%)が計画。

●建物、付帯施設=各3事業所、●その他=1事業所



○ 今期の経営上の問題点(1位回答の多い順。同率の場合は1~3位回答合計による)

今回3位「店舗施設の狭隘・老朽化」は前回番外8.4%より3.4%増加、今回1位「需要の停滞」は前回1位25.3%より2.9%減少、今回2位「材料等仕入単価の上昇」は前回3位10.8%より3.3%増加している。利用者ニーズの変化」は前回2位15.7%より5.1%減少、前回4位「従業員の確保難」は今回番外となっている。



4. 全国と対比した主要景況項目の動向 -前年同期比D I-

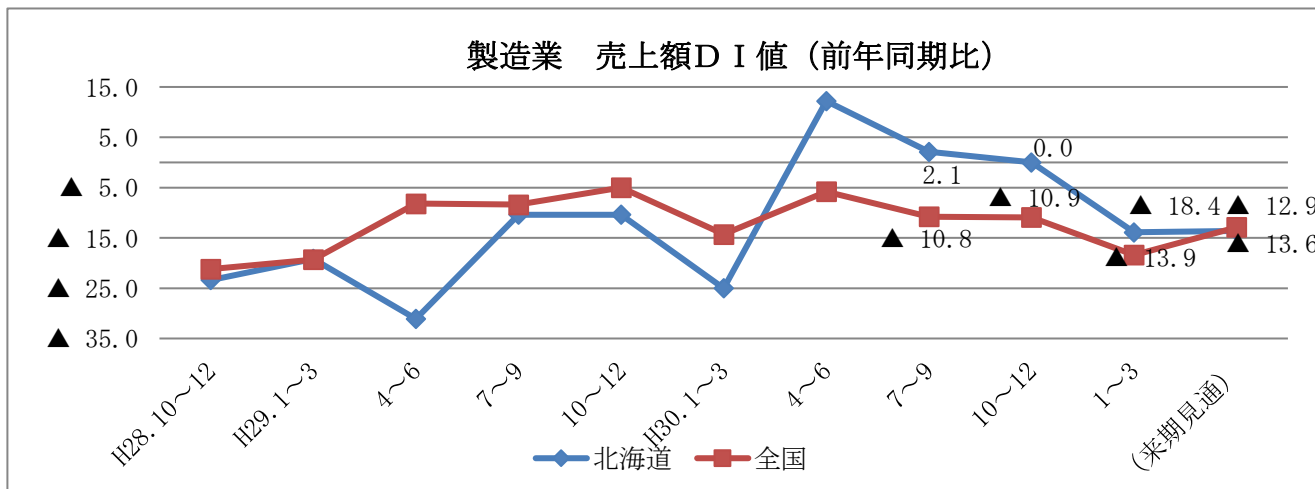
【各調査時期における前年同期比の「増加(上昇・好転)」回答企業比率-「減少(低下・悪化)」回答企業比率】

製造業

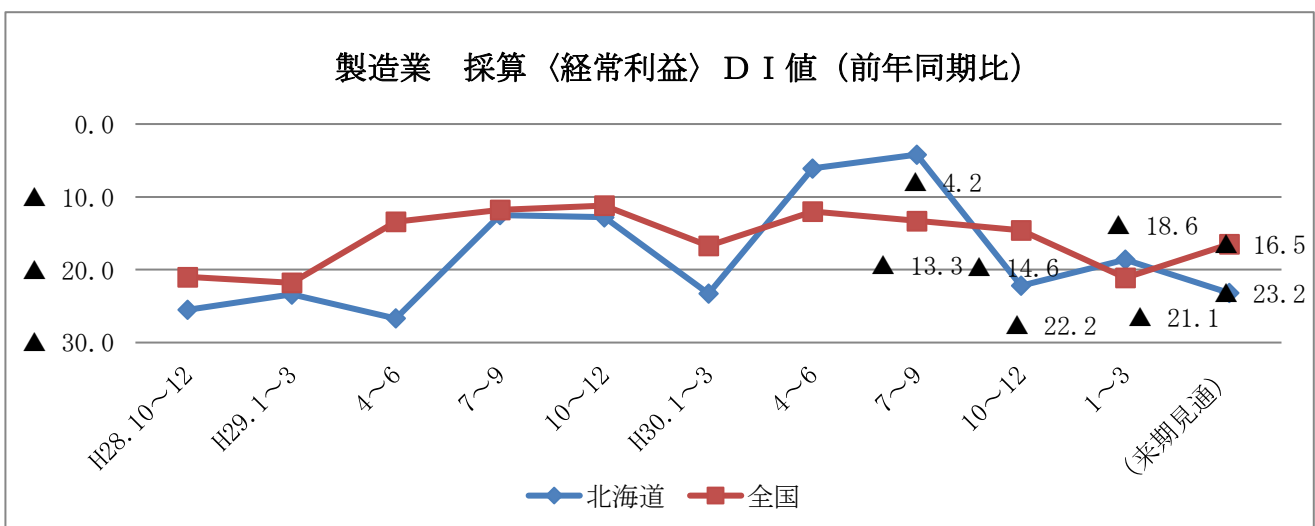
【北海道】(今期)売上額▲DI値…増加、採算▲DI値…増加、資金繰り▲DI値…増加
(見込)売上額▲DI値…増加、採算▲DI値…増加、資金繰り▲DI値…増加

【全国】(今期)売上額▲DI値…横ばい、採算▲DI値…増加、資金繰り▲DI値…増加
(見込)売上額▲DI値…減少、採算▲DI値…減少、資金繰り▲DI値…減少

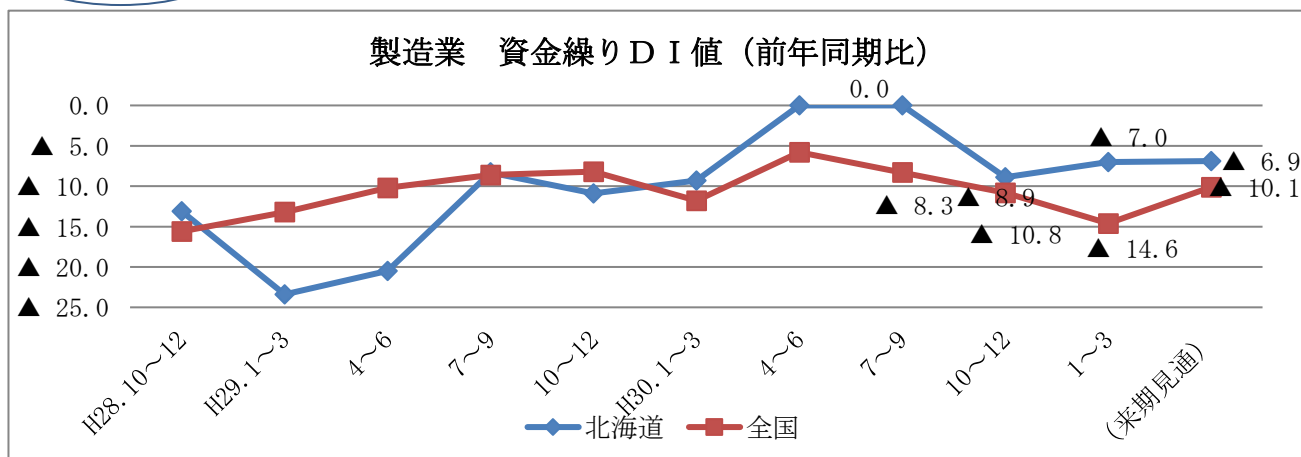
売上額



採算



資金繰り



建設業

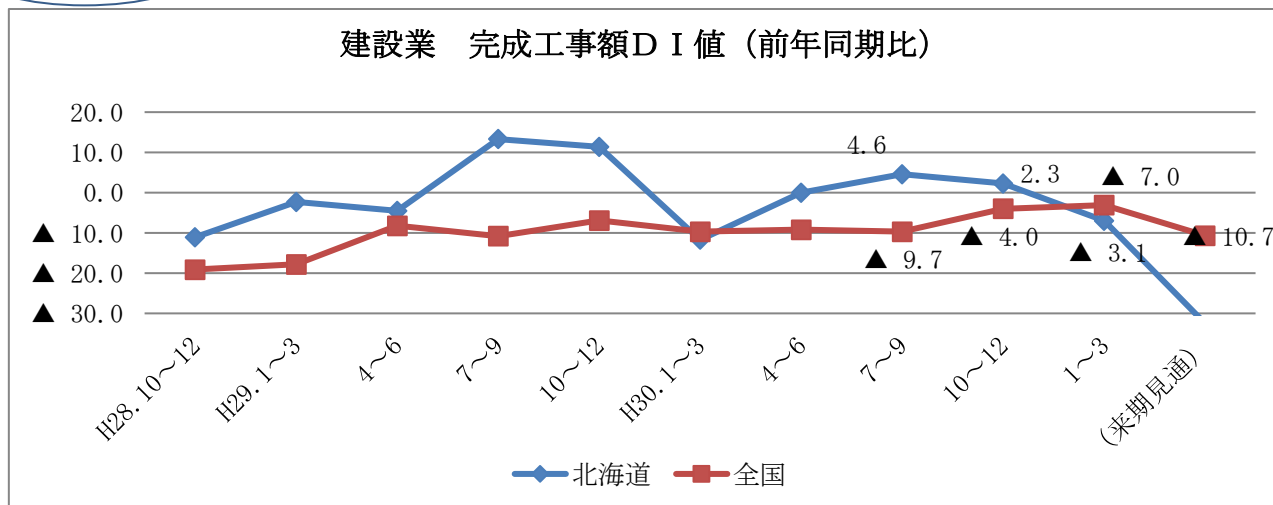
【北海道】(今期)売上額▲DI値…増加、採算▲DI値…横ばい、資金繰り▲DI値…増加

(見込)売上額▲DI値…増加、採算▲DI値…増加、資金繰り▲DI値…増加

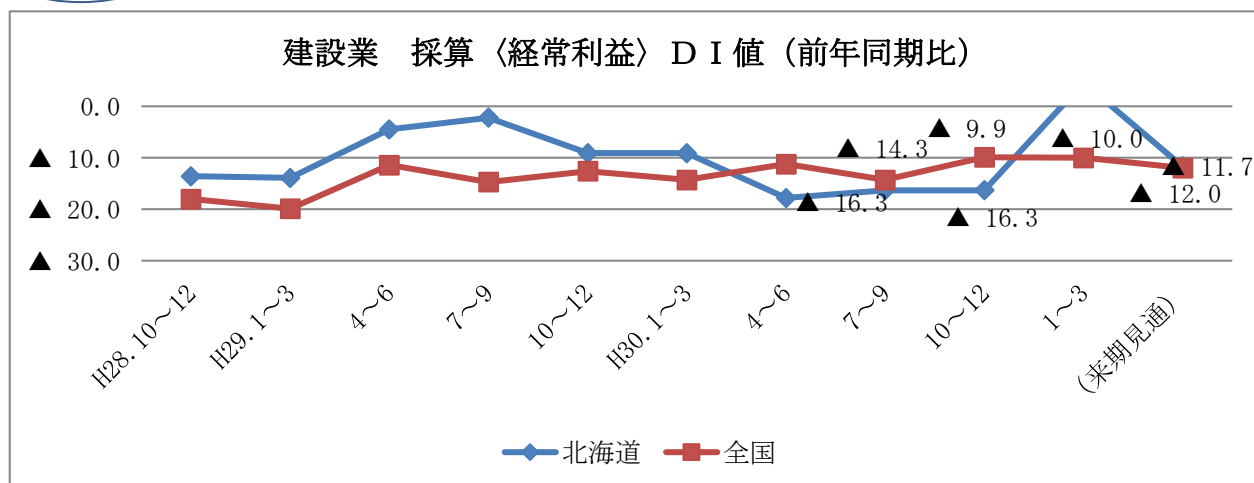
【全国】(今期)売上額▲DI値…減少、採算▲DI値…減少、資金繰り▲DI値…減少

(見込)売上額▲DI値…増加、採算▲DI値…増加、資金繰り▲DI値…増加

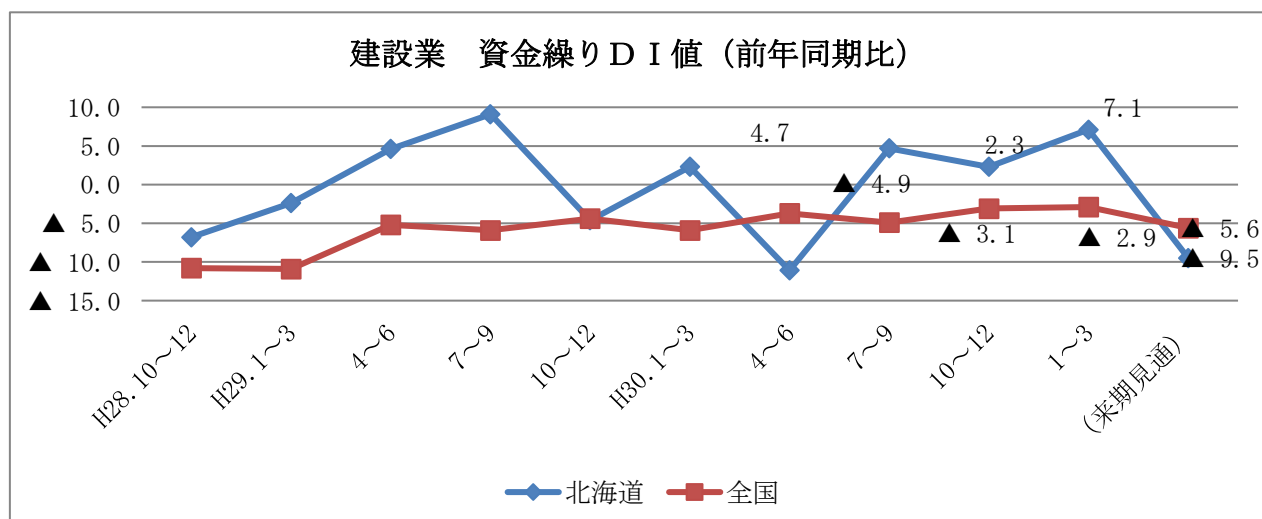
完成工事額



採算



資金繰り

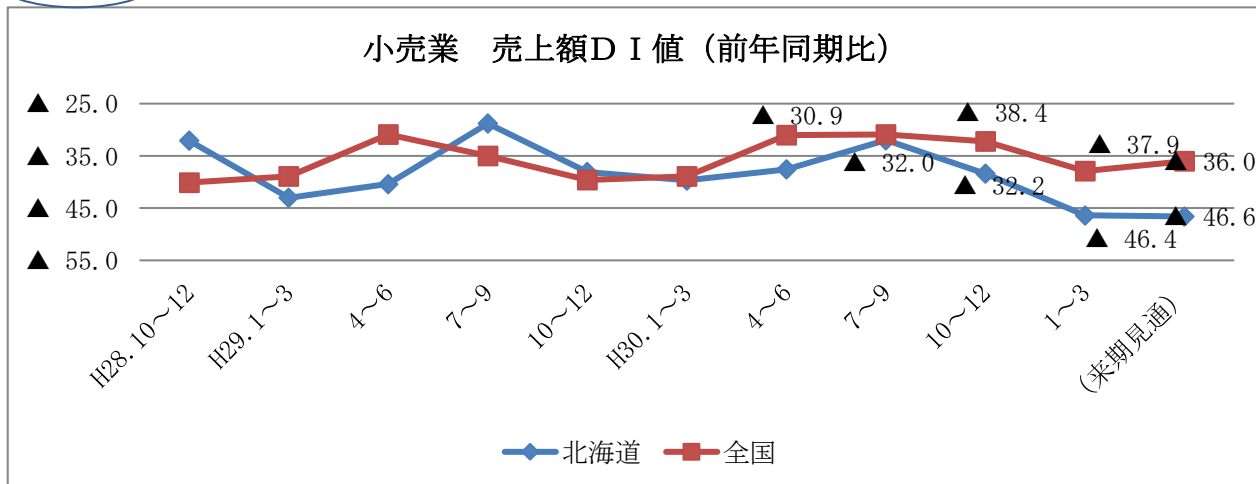


小売業

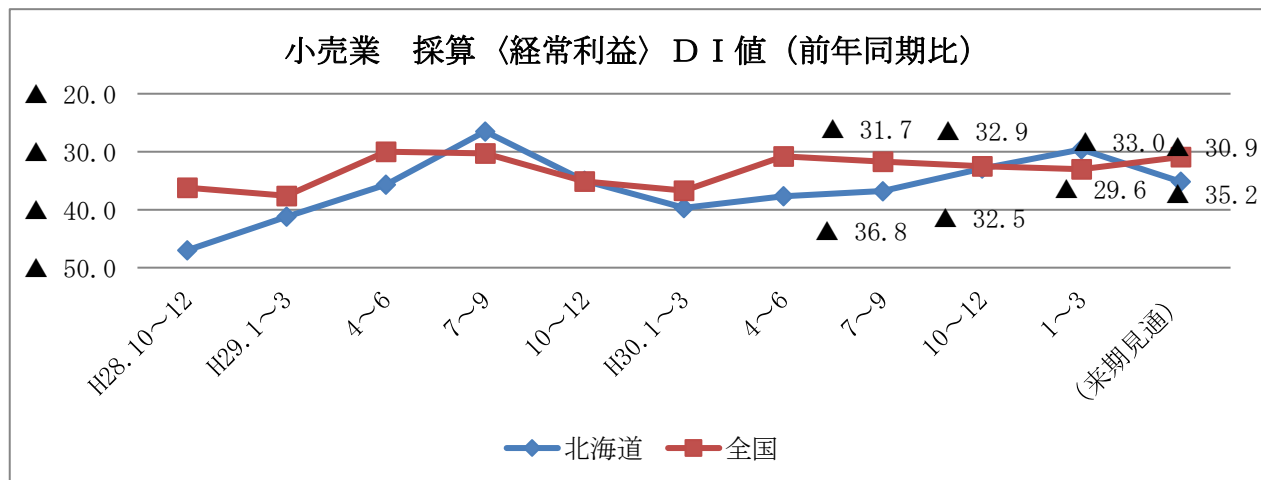
【北海道】(今期)売上額▲DI値…横ばい、採算▲DI値…減少、資金繰り▲DI値…横ばい
(見込)売上額▲DI値…増加、採算▲DI値…減少、資金繰り▲DI値…減少

【全国】(今期)売上額▲DI値…増加、採算▲DI値…横ばい、資金繰り▲DI値…横ばい
(見込)売上額▲DI値…横ばい、採算▲DI値…減少、資金繰り▲DI値…横ばい

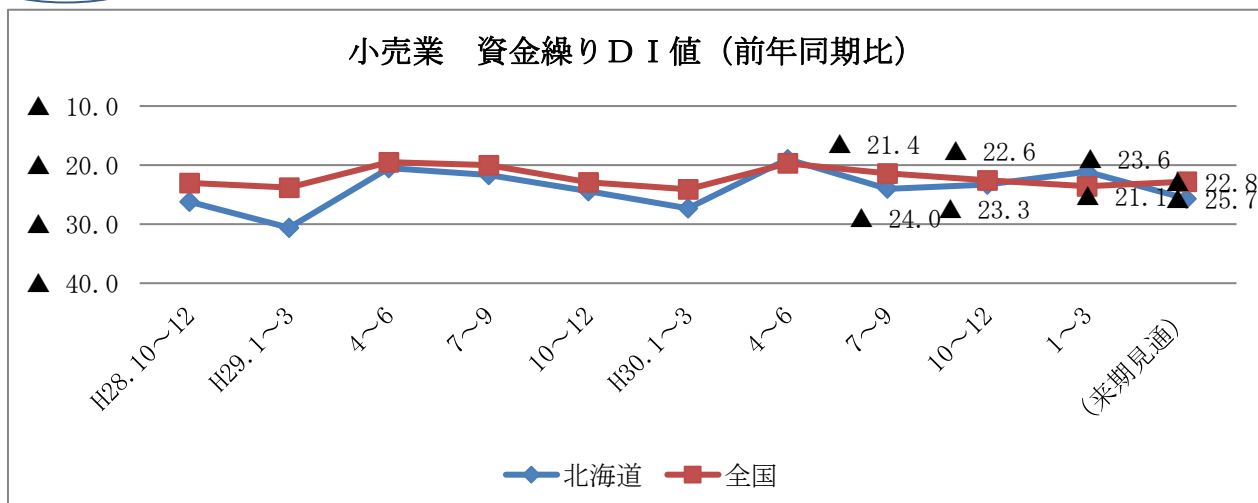
売上額



採算



資金繰り

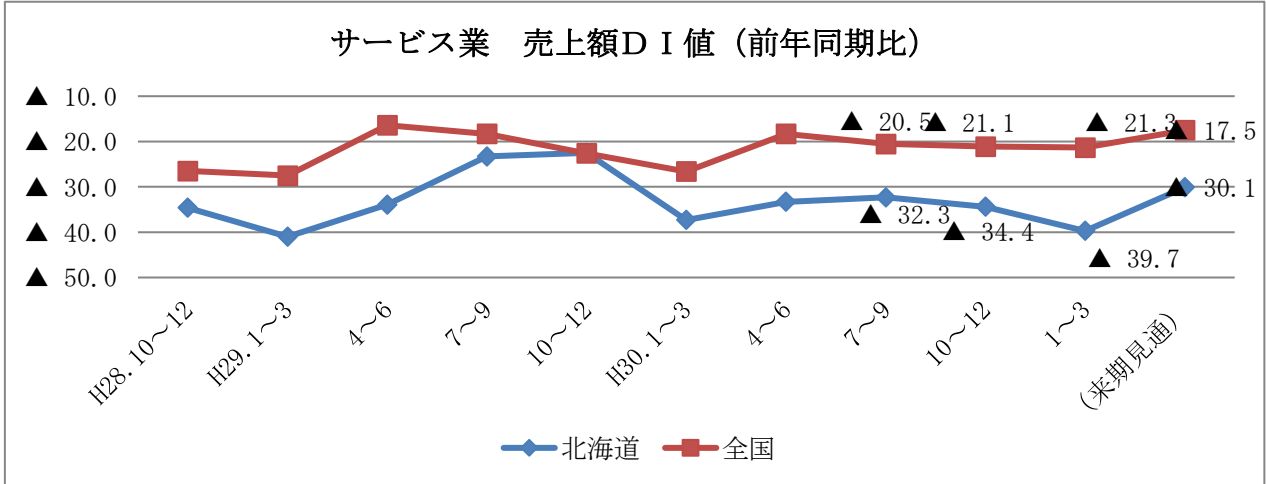


サービス業

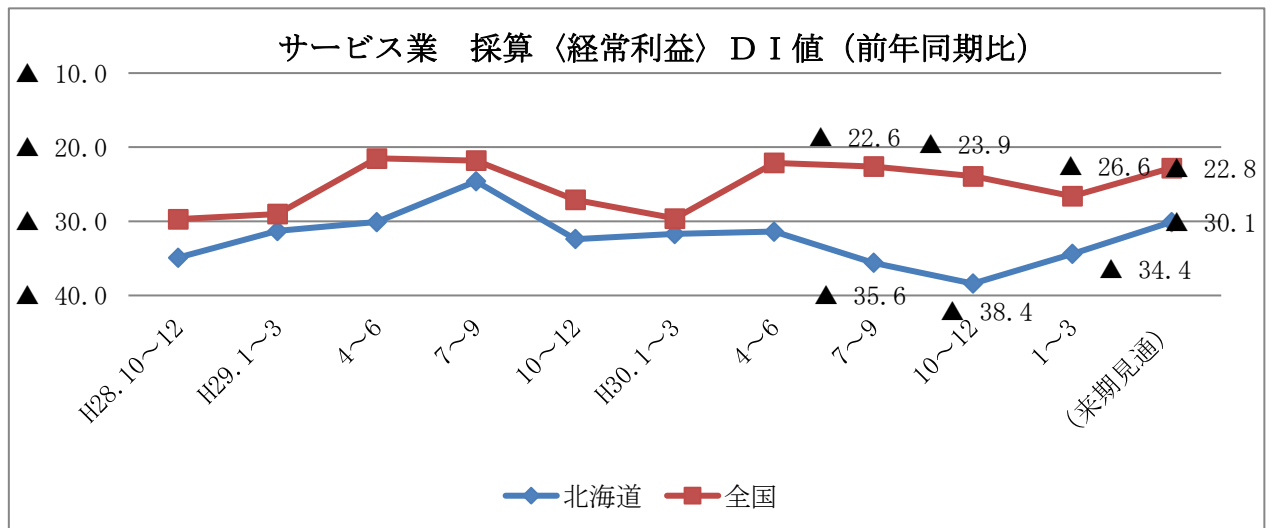
【北海道】(今期)売上額▲DI値…増加、採算▲DI値…増加、資金繰り▲DI値…増加
 (見込)売上額▲DI値…減少、採算▲DI値…減少、資金繰り▲DI値…減少

【全国】(今期)売上額▲DI値…横ばい、採算▲DI値…増加、資金繰り▲DI値…増加
 (見込)売上額▲DI値…減少、採算▲DI値…減少、資金繰り▲DI値…減少

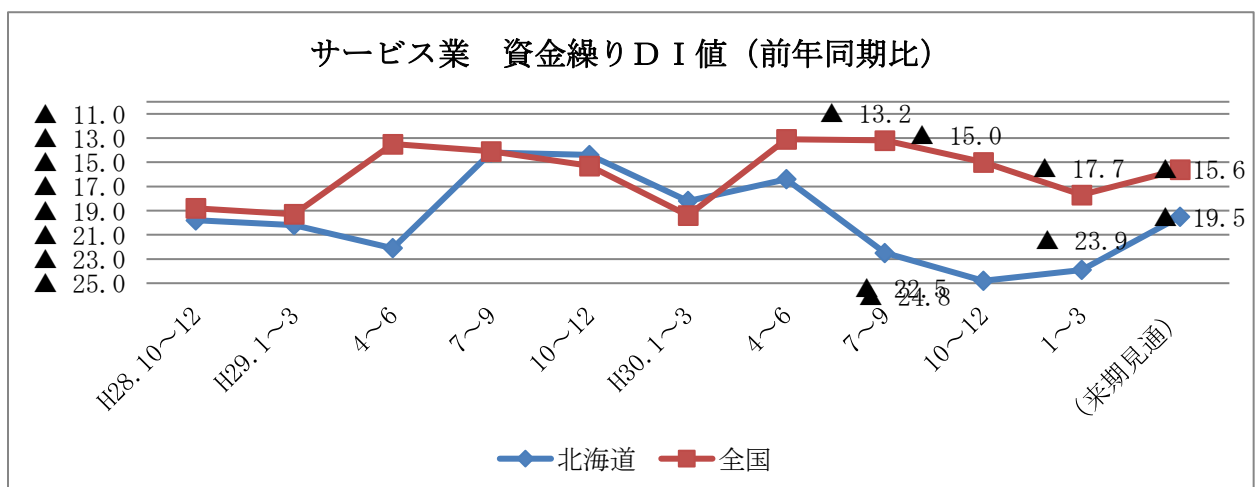
売上額



採算



資金繰り



5. 自社の業況判断の背景について感じている事(調査対象企業の声)

業種	内容
製造業	<p>●やはり商工会ですから売れ行きによって左右されます。こればかりはお客さんの都合ですから仕方ないのですが、会社としてはたくさん売れた方がいいので、できるだけ来て欲しいと思います。●11月末に代表者交代があり、経営状況の寒いまま引き継いだ。仕事の需要は沢山あるが経営体制を180度変える必要があると感じる。今後は支出と収入のバランスを考えながら、営業力を高めていく必要性を感じる。●リピーターのお客単価が上昇し安定ししたが、消費税アップによる消費の落ち込みが不安である。●毎年あまり変化はありません。●例年より雪が少ないためスキーなどのお客様が少ないと感じます。●引合い等は多くなっているが、原材料の高値と数量の確保が困難であり、大口の商談の対応は即答がしにくい状況である。●今の時代に、業況が変わらず何かと維持できている事が良い方だと思う。しかし、今後は原材料の不足や価格の上昇といった問題を抱えていく不安は大きい。●今年度は、当社の取扱う原魚が豊漁で有ったが、今後水揚げされる原魚確保が心配である。</p>
建設業	<p>●技術者の確保が困難。●外注費等の価格の上昇に伴い採算が圧迫されている。●いよいよ人材の確保が難しくなり、人材の取り合いがすでに始まっている。北竜町の法人は既に他町の人材がほとんどであり、このまま人材難が進むと営業できなくなる時が来ると予想される。●暖冬の影響で降雪も少なく、前年に比べて採算の度合いは良いが降雪による工期の遅れ等の追込みが少なく、仕事量的に前年に比べて少ない。ゼロ国債工事の発注により、来期の見通しが立つため運転天賦という感じである。●今は落ち着いているが、消費税が上がるとどうい風になるのか心配である。●農業関連の仕事は好調なようだが、公共工事は一段落している現状のようだが、人手不足は相変わらずの状態、それに材料の高騰という問題も重なって、停滞感を感じるようになった。この傾向は続くと思われる。</p>
小売業	<p>●人口減少に伴い、購読者も減少。●客単価の減少は続く予想です。●ガソリンの仕入単価が上昇のため利益率が悪い。●人口減少により売上が減少しつづけている。●初売りは、去年の寒い数字より更に悪化し、決算セールに於いては近年例を見ない売上でした。初売り離れもはなはだしく頭をかかえています。街中も、低温と大雪で静まり返っている状況ですから、先行きが心配です。●大雪のために、売上が減少しています。昨年より季節変化によりお客様も減っています。</p>

サービス業

●予約制でやっているため、出来る客数が限られている。●家族でやってる店なので昔のように人がいないため対応できず、客が減ってほしいが、回りに店がなくいっぱいいっぱい仕事をしている。●売上を増加させることと、働き方の見直しを同時に考えなければならない難しい課題があると思います。●夏季シーズンは、修学旅行等の団体はニセコ周辺の宿泊が困難ということで減っている。冬期は、地元の企業より外資系が利益をあげている。日本企業は、様々な規制により、新たな展開が難しい。又、人材確保も難しい。●夜出歩く人が減少し、売上が大幅に減少。人口減少の影響が大きい。●人口減少、老人化、町に営業に来ない。住宅が建たない。●お客と事業主の高齢化。●お客様の家計などで来店数を減らす、または施術内容を変えるなどがある。●昨年後半と比較して、今期は大雪や極度の冷え込みにより来客が減少し、売上に大きく影響している。●町内人口の減少化、高齢化。業界全体における技術不足と若手技術者の確保難。●今年度は従業員を増員し効率を上げていきたいと思う。●利用者のニーズで対応するだけの体制が出来ず、売上の減少になっている。新しい取り組みも出来ず、客の流出が続いている。材料費等の上昇もあり利益が上がらない状態で、価格の変更も増税を視野に検討したい。●全道停電以降、売上の減少が続いている。少しずつ元に戻りつつあるが、1月・2月の天気と気温のせいで、少しだけ客の動きが悪くなっている。10月の消費税増税以降の客の動きに不安を感じている。●新規事業が成功し、資金繰りその他も順調に行くように努力していきたい。